

研究課題：他院でてんかん外科手術が施行された症例のまとめ

1. 研究の目的

てんかん患者の 20-30%は薬剤抵抗性の経過を辿ります。治療の主軸は抗てんかん発作薬の調整による内科的治療ですが、時に外科治療（てんかん外科手術）が治療選択肢に挙げられます。

今まで当科通院中の薬剤抵抗性てんかん患者様において、てんかん外科手術が必要な場合は他院へ紹介し、紹介先で手術を施行され、その後再び当科で外来経過観察しております。

2024 年 4 月より当センターでてんかん外科手術が可能となります。そこで、今後の当院における小児包括的てんかん診療の方策を考える一環として、今までに他院 でてんかん外科手術が施行された症例をまとめます。

2. 研究の方法

2009 年 1 月から 2024 年 3 月までの期間で、当科でてんかん診療を受け、他院でてんかん外科手術が施行され、その後再び当科で外来経過観察を行うことができた患者様が対象となります。

診療録を参考に、てんかん発作型、てんかん分類、手術方法、術後発作予後などを調査します。

3. 研究期間

倫理委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録を参考に、性別、年齢、てんかん発症年齢、てんかん手術時年齢、手術方法、術後予後について情報を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌に公表されることがありますが、患者様の個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
実施責任者：神経科 科長 菊池健二郎

実施分担者：神経科	副病院長	浜野晋一郎
保健発達部	医長	小一原玲子
神経科	医長	松浦隆樹
神経科	医長	平田佑子
神経科	医員	竹内博一
神経科	医員	堀田悠人

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年9月30日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）